

進路 **だ** **よ** **り**

No. 3

貝塚市立第二中学校

2014年5月8日発行

保護者の方にも必ず見せてください

女子高生サヤカが学んだ「1万人に1人」の学習法

今、ベストセラーになっている本を読みました。

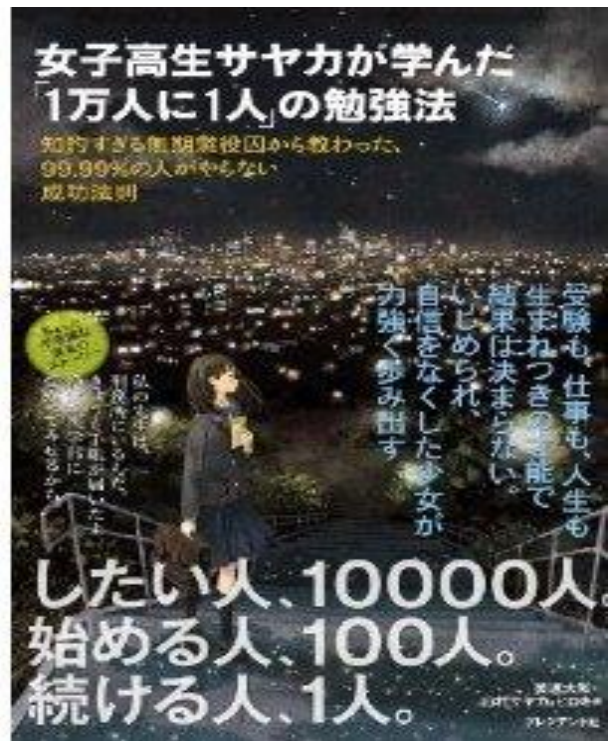
この本は、とあることから刑務所の中の無期懲役囚（むきちょうえきしゅう）と文通することになった女子高生サヤカとその弟ヒロキの往復書簡を本にした実話です。

その無期懲役囚は、学生時代は非常に勉強ができて優秀でしたが、大人になって人を殺してしまいます。裁判の中で、そこに至るまでの自分の考えが大きく間違っていたことに気づき、仮釈放制度があるにも関わらず、被害者とその家族へ償（つぐな）いのために一生刑務所を出ないことを決意します。

はじめに文通を始めたのはお母さんです。しかも、高校生の娘や中学生の息子にも文通を勧めて、その無期懲役囚から勉強方法を教わる――。

一般には考えられないことを、4年間も続けます。その方は、美達大和さんといい、すでに8冊の著書を出版しています。

今回は、その本の中から、美達さんが体験に基づく勉強方法について、「大切なこと」と言っている内容を拾い読みしてみましょう。



◎大切なことは「勉強をする」という取り組みを通して「自分を鍛える」ということだと私は考えています。社会に出ると多くの課題や問題に遭遇します。勉強は、それを乗り越えられるようにするためのトレーニングなのです。現在サヤカさんが勉強する目的は受験だと思いますが、本当はもっと重要なことがあります。世の中は好きなこと、簡単なことばかりではありません。そのようなときに、「何にでも平然と取り組める、解決できる、忍耐強く続けられる」という能力を養うための訓練が勉強なのです。目標を定め、計画を立て、自分を管理し、達成するという一連のトレーニングだと考えてください。目標を達成する課程の中で、さまざまな能力が鍛えられます。記憶力、論理的思考力、忍耐力、持久力などですが、「自分はあきらめずにやり遂げたんだ」という成功体験も一緒に手に入ります。この成功体験の積み重ねが、サヤカさんの血肉となり、ゆるぎない自信となります。サヤカさんが将来の夢や目標を持ったとき、それを実現させるのは勉強を通して身につけたさまざまな能力なのです。

◎大切なのは「絶対にうまくいかせる」と力むことではありません。「小さなことをやり続ける」ことです。変な力みは逆効果です。存在しない不安や心配について悩んだり、時間を使ったりすることは無駄です。桜のように淡々とやればよいのです。

◎続ける習慣は、今日はじめたからといって、明日、一週間、一カ月ですぐに身につくものではありません。楽に手に入れたものは、大したものではありませんからね。日々の暮らしの中で、自分の弱い心と闘って手に入れてください。

◎「続けるのは難しい」ということですが、すぐにできることはありません。人はどうしても自分を甘やかします。今日くらい、いいだろう。ちょっとくらい、いいだろう。明日やればいいや、と。そうなると、十中八九ダメになります。何かをすとなれば自分と約束をするということです。自分が相手ということは、誰が見ていなくても己は知っています。自分との約束、誓いを破ってはいけません。(中略)そして、良い習慣が自信や喜びを運んでくれます。しかし、悪い習慣だとしたらどうでしょうか。できない言いわけばかり探し、何をやっても途中であきらめる……。自分を信じられず、何となく生きていくだけの人生、何よりも自分の中にあるはずの能力と可能性を使うことなく過ごすのです。これを自分への背信、裏切りと言いますが、さびしいことだと思います。

ゴールデンウィークが終わり、いよいよこれから皆さんの「受験勉強」が開始されます。1年間「続けること」を目標に、「本当の受験勉強」をはじめてみませんか？ 【裏へ】

あしなが高校奨学金の案内

① 応募資格・条件

高等学校、高等専門学校に進学を希望する中学校3年生で、保護者等（父または母）が、病気や災害（道路における交通事故を除く）もしくは自死等で死亡したり、それらが原因で著しい後遺障害で働けなくなった場合。

② 出願期間

前期募集：7月31日まで

後期募集：12月15日まで

③ 奨学金の額

国公立：月額25,000円

私立：月額30,000円

（卒業してから20年以内に返還）

※詳細については、担任の先生に問い合わせをしてください。